

連合会
主催

平成30年度役職員研修に参加

2月26日

金沢市ものづくり会館

県シルバー人材センター連合会主催の「役職員研修」が開催され、県内18センターや連合会から役職員60名以上が参加しました。

冒頭、須野原雄会長(右写真)は、「会員の事故が大幅に増えており心配。また、事業を進めていく上では法令順守を徹底してほしい。」と挨拶しました。



挨拶する須野原雄会長

今回の研修会では、金沢弁護士会所属の長澤裕子弁護士を講師に招いて、シルバー事業を進めていく過程で起こり得るいくつかのトラブルを例に挙げて、その対処法などを学びました。

この研修会には、当センターから菅野守二理事長、高野敬学理事、川浪和雄理事、山崎英機理事、東渡和彦事務局長の5名が出席しました。

左写真＝長澤弁護士の話熱心に聞き入る参加者(金沢市ものづくり会館)



死亡事故が発生する前に・・・

剪定現場の安全確認を実施

～前年度は全国で8人の剪定会員が死亡～

近年、全国各地のシルバーで庭木剪定中の重篤事故が相次ぎ、不幸にして死亡する例が後を絶ちません。前年度に全国で発生したシルバー会員の死亡事故33件中、剪定・伐木作業による死者は8名でした。

県内においても、一昨年は加賀地区で男性会員が死亡、また昨年は能登地区で男性会員が頭部を強打し、9カ月が経過した今も意識が回復していません。

このような事故を防ぐため、昨年末から年明けにかけて、事務局と坪田忠道剪定班長外が高木や足場の悪い現場の現地確認を行いました。

その結果、足場が大変悪い現場や5メートルを優に超える高い木のある現場については、後日、事務局がお客様宅を訪問し、説明の上、受注を辞退させていただきました。

また、いったん受注して作業すると、例え安全上の理由でも、翌年以降なかなか断り切れなくなる傾向にあったため、初めての剪定申し込みの場合は必ず事務局担当者が現場を確認し、危険と判断した場合は、ためらわずにお断りしています。

尊い人命には代えられません。

連合会
主催

「接遇マナーの講義を受講」

昨年12月13日から宝達志水町民センター「アステラス」で開催されていた「果樹栽培講習会」には、当センターから男性6名、女性1名の計7名が受講し、野菜・果樹栽培の基礎技術や病虫害防除、土壌改良技術などについて熱心に勉強しました。

最終日には「接遇マナー」の講義があり、受講生は、講師の(有)イーアールの畑中奈小美さんの話熱心に耳を傾けたり、メモをとっていました。

シルバー会員としてお客様宅を訪問するからには、果樹栽培の技術・知識だけでなく、基本的な接遇マナーも大切です。

寒い時期の講習会でしたが、閉講式で修了証書もらい、皆笑顔で解散しました。

当センターからの受講生は次の皆さん。

井上達司、岩城輝雄、澤田眞治、坪田孝雄、西井務丸田ちづる、山崎英機 (50音順、敬称略)



講師の畑中さんは羽咋出身で、お父さんは元シルバー会員です。

※ この記事は「安全だより第11号」の原稿締切に間に合わなかったため、今号に掲載しました。

安全就業標語

ただいま募集中!

石川県シルバー人材センター連合会では、平成31年度の安全就業標語を募集しています。

「事故をなくしたい!」無事故を願うあなたの切なる願いを標語に込めて下さい。

応募要領

所定用紙にご記入ください。お一人3点まで。

・提出方法 センターへ提出してください。
3月開催の地域懇談会会場でも受付。

・しめきり 3月15日(金)必着

※選考委員は応募できません。

安全・適正就業委員会にて5点を選び、その中の1点を「最優秀作」として、この4月から1年間、当センターの安全就業標語としてPR活動に使用します。

また、その5点を、当センター代表作として県シルバー人材センター連合会へ提出します。

ちなみに平成30年度の当センター「安全就業標語」は、

これぐらい 過信と油断が 事故のもと
連合会「佳作」受賞 最上ナツ子さん(千里浜町)

事故はある日、突然に...

交通事故に気をつけよう!

～ 当センターの乗用車が追突され軽傷 ～

昨秋、チップ処分場へ行くために一旦停車をしていた当センターの乗用車が後ろから追突され、運転していた東渡事務局長が軽度のむち打ち症になり、約1カ月通院を余儀なくされました。

原因は相手方ドライバーの脇見運転でした。

また、2月1日の夕方には、事務局の高嶋主任が太田町付近を走行中に、目の前で正面衝突事故が発生。軽トラックの中に閉じ込められた運転手の救護活動にあたりました。



いずれの事故も自分自身が安全運転を心がけていても、他車があつ込んでくる事故は防ぎようがありません。

まもなく4月には県下一斉の「春の交通安全県民運動」が始まります。

日頃から交通事故への用心を怠らないで「被害者にならない、加害者にもならない」ように気をつけたいものですね。



羽咋市シルバー人材センターの

今年度の事故発生状況

※平成31年3月1日現在

No.	事故発生日	事故区分	事故のあらまし
10	1月22日	物損 (仕事中)	マイクロバスを後退したときに電柱にぶつかり、電気メーターボックスを破損した。

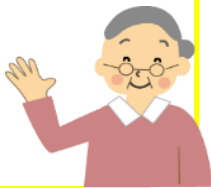
今年度の発生件数は現在10件です。前年度は11件でした。

こんなに努力してるのに...

羽咋は事故が多いってホント???

1月末現在、県内のシルバー会員の事故は93件で、過去最多となっています。実はそのうちの10件が当センターです。会員数などセンターの規模も違うため、一概に比較できませんが、県内18センターの中では事故の多いことがわかります。

不名誉な記録を返上しましょう。



これまでで会員と事務局とのパイプ役として活動してきた「地域連絡員制度」が今年度末で廃止されることになった。地域連絡員については、今年改選期だが、近年は「なり手不足」のため、対応に苦慮する地区が増え、問題化していた。先月開催の理事会において、その対応を慎重に

協議した結果、多数決により廃止が決定した。県内の他のセンターでも同様の問題を抱え、すでに廃止したところも。当センター設立の翌年の平成元年から始まったこの制度も三十年の幕を閉じることになった。なお、例年三月に開催している地域懇談会は、今後も継続となった。

第五回理事会

地域連絡員制度を廃止

三十年の活動に幕を閉じる

編集後記

去年の1月から2月にかけて豪雪に苦しめられたので、それを見ると、雪なしの冬がなんと幸せに思えることか。と思っていたが、先日の剪定班会議に出席していた坪田忠道剪定班長さんが、「雪が少ないと虫も死なん。だから、それはそれで困りもんやぞ。」なるほど言われてみればそのとおり。やはり、何事もホドホドが一番か。さて、春の訪れとともに徐々に仕事の電話が増えてきました。会員の皆さんの健康と安全を祈ります。皆で事故のないシルバーにしましょう。

安全・適正就業委員会 委員長 川浪和雄ほか委員一同

緊急電話(夜間・休日専用)

至急! 至急!

大ケガや重大事故 080-5854-4949

※小さな事故やケガの場合は、従来通り 休み明けに事務局へ電話してください。

事務局 22-2700